

NY マーケットレポート (2014 年 10 月 14 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、序盤のドル円・クロス円は、欧米の株価動向を背景に、堅調な動きとなった。最近の株価下落を受けて、割安感の出た銘柄を買い戻す動きが出ていることや、第 3 四半期の米企業決算がまずまずの結果となったことが株価の押し上げ要因となっており、これを受けてドル円・クロス円も堅調な展開が続いた。しかし、午後に入ると、株価は上げ幅を縮小する動きとなり、終盤にはマイナス圏まで下落したことから、ドル円・クロス円も引けにかけて上値の重い展開が続いた。ユーロは、ユーロ圏やドイツの指標結果が低下したことが影響して、対ドルなどで軟調な展開が続いた。また、英ポンドは、英国のインフレ率が 2009 年 9 月以来の低水準となったことが嫌気され、大半の主要通貨に対して下落する動きとなった。

2014/10/14 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	107.24	107.32	106.76
EUR/JPY	136.21	136.54	136.01
GBP/JPY	172.12	172.49	171.77
AUD/JPY	93.91	94.51	93.59
EUR/USD	1.2700	1.2769	1.2690

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	107.32	106.68
EUR/JPY	136.45	135.03
GBP/JPY	172.12	169.93
AUD/JPY	93.91	93.18
EUR/USD	1.2707	1.2640

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14936.51	-364.04
ハンセン指数	23047.97	-95.41
上海総合	2359.47	-6.53
韓国総合指数	1929.25	+2.04
豪ASX200	5207.43	+51.93
インドSENSEX指数	26349.33	-34.74
シンガポールST指数	3194.40	-7.75

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6392.68	+26.44
仏CAC40	4088.25	+9.55
独DAX	8825.21	+12.58
ST欧州600	321.53	-0.03
西IBEX35指数	10204.90	+17.60
伊FTSE MIB指数	19155.85	+16.77
南ア 全株指数	47686.85	+318.51

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	107.03	107.20	106.85
EUR/JPY	135.50	135.69	135.16
GBP/JPY	170.30	170.78	169.97
AUD/JPY	93.21	93.71	92.95
NZD/JPY	83.90	84.37	83.60
EUR/USD	1.2661	1.2680	1.2641
AUD/USD	0.8709	0.8754	0.8694

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16315.19	-5.88
S&P500	1877.70	+2.96
NASDAQ	4227.17	+13.52
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14036.68	-190.68
ブラジルボルサ指数	43179.85	+91.18
ボネバ指数	58015.46	+58.93

10/15 経済指標スケジュール
08:30 【豪】10月ウエストバック消費者信頼感指数
10:30 【中】9月消費者物価指数・9月生産者物価指数
13:00 【日】9月首都圏新規マンション発売
13:30 【日】8月鉱工業生産・8月稼働率指数
15:00 【日】9月工作機械受注
15:00 【独】9月消費者物価指数
16:00 【トルコ】8月経常収支
16:00 【トルコ】7月失業率
17:00 【ノルウェー】9月貿易収支
17:30 【英】8月ILO失業率[四半期]
17:30 【英】9月失業者数推移
20:00 【米】MBA住宅ローン申請指数
20:00 【南ア】8月実質小売売上高
21:00 【ポーランド】9月消費者物価指数
21:30 【米】9月生産者物価指数
21:30 【米】9月小売売上高
21:30 【米】10月ニューヨーク連銀製造業景気指数
22:00 【カナダ】9月住宅価格指数
22:00 【カナダ】9月中古住宅販売件数
23:00 【米】8月企業在庫
03:00 【米】米地区連銀経済報告[ページブック]

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1234.30	+4.30
NY 原油	81.84	-3.90
CMEコーン	357.00	+11.00
CBOT 大豆	964.75	+19.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.37%	0.44%
3年債	0.80%	0.90%
5年債	1.45%	1.56%
7年債	1.88%	2.00%
10年債	2.20%	2.31%
30年債	2.96%	3.04%

10/15 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 106.89 ユーロ/円 135.19 ユーロ/ドル 1.2650

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	69360.54	-5.70	ダウ INDEX FUTURE	16287	+55
仏 CAC40	4053.38	-25.32	S&P500 FUTURE	1873.70	+8.10
独 DAX	8772.67	-39.76	NASDAQ FUTURE	3813.50	+15.00

(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ポーランド経常収支 -9億8600万EUR (予想 -3億7800万EUR・前回 -6億8100万EUR)
前回発表の-1億7300万EURから-6億8100万EURに修正

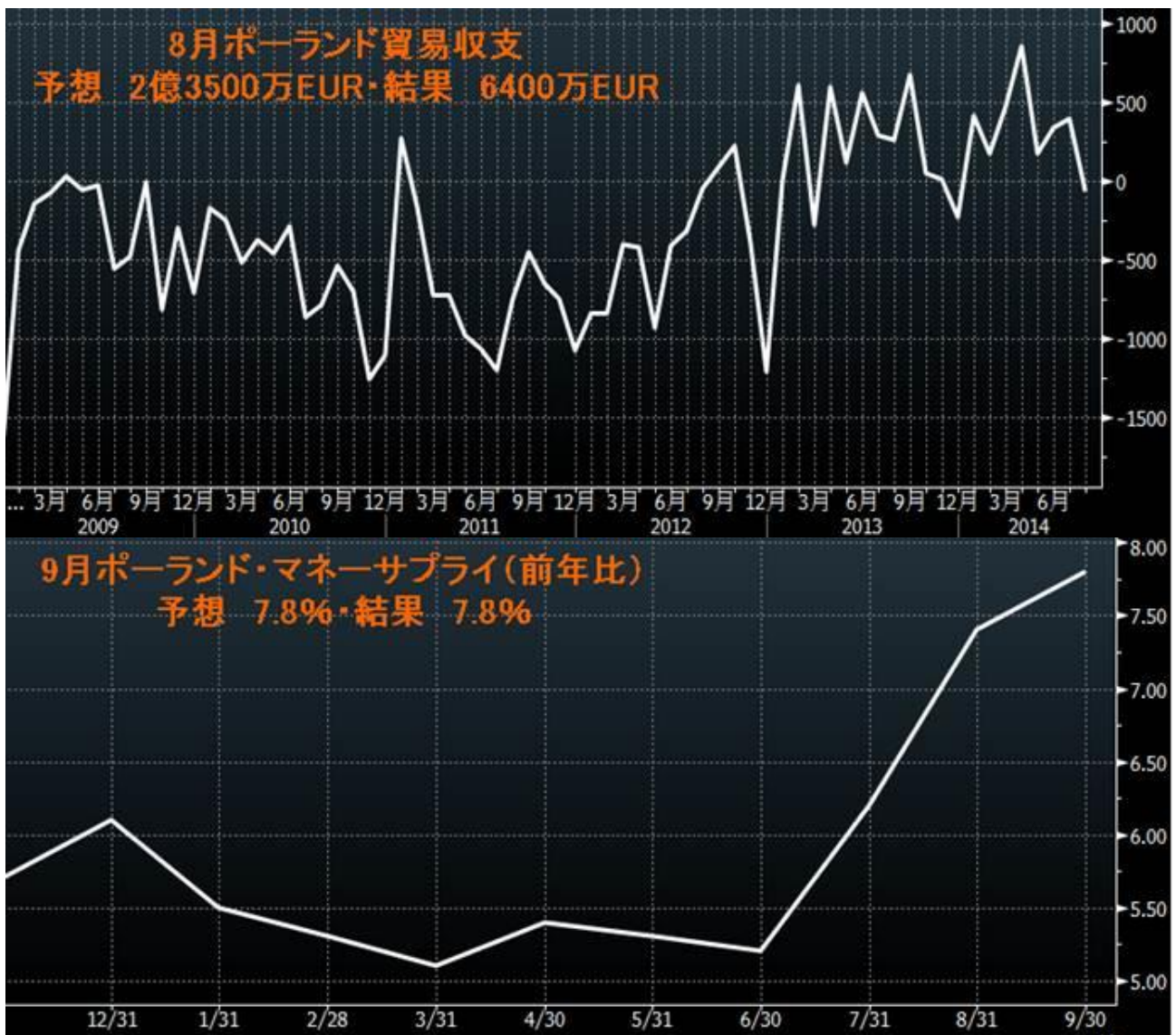
8月ポーランド貿易収支 6400万EUR (予想 2億3500万EUR・前回 7100万EUR)
前回発表の3億9300万EURから7100万EURに修正

9月ポーランド・マネーサプライ (前月比) 0.0% (予想 0.1%・前回 1.8%)

9月ポーランド・マネーサプライ (前年比) 7.8% (予想 7.8%・前回 7.4%)



(出所: ブルームバーク)



21:00

ドイツ政府は2014年、2015年の成長率見通し下方修正

- ・「2014年成長率見通し、1.2%に下方修正（従来1.8%予想）」
- ・「2015年成長率見通し、1.3%に下方修正（従来2.0%予想）」
- ・「インフレ率見通しは、2014年が1.1%（2015年予想は1.6%）」

21:00

《企業決算》

米J&J

第3四半期 調整後の1株利益は1.50ドル（予想1.44ドル）

米シティグループ

第3四半期 調整後の1株利益は1.15ドル（予想1.12ドル）

米ウェルズ・ファーゴ

第3四半期の1株利益は1.02ドル（予想1.02ドル）

21 : 45

米 30 年債利回りは、2013 年春以来の 3% 割れ。

22 : 37

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16423.82	+102.75
ナスダック	4258.69	+45.03

(出所:SBILM)

《ポイント》

米短期金利先物市場では、2015 年の米 FRB による利上げ開始への期待が後退し、2015 年下期が限月となる FF 金利先物が総じて上昇した。欧州や中国、日本では予想を下回る経済指標が相次いでおり、ドル高と相まって米景気の鈍化懸念を強め、FRB が事実上のゼロ金利解除を 2015 年半ばから後ずれさせるとの見方となっている。

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、ダウ平均株価が前日までの 3 営業日で 670 ドル以上の上昇となったことから、金融やハイテク関連を中心に割安感が出た銘柄を買う動きが先行した。ただ、世界経済の先行き懸念を背景に、主要株価の上昇幅は限定的となっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 112 ドル高まで上昇したものの、その後は上昇幅を縮小する動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

NFB（全米独立事業者協会）が発表した 9 月の中小企業楽観度指数は、0.8 ポイント低下の 95.3 となり、市場予想の 95.8 も下回る結果となった。収益の伸び鈍化や信用状況の引き締め、人材確保の困難などが要因となった。構成指数の 10 項目中、6 項目が低下となった。ただ、現在が事業拡大の好機と考える企業が増えたほか、半年先の業況見通しも改善するとの見方が増えた。ただ、1 企業当たりの雇用者数は季節調整済みで平均 0.24 人と、前月の 0.02 人から改善した。対象企業の経営者の約半数が過去 3 ヶ月に雇用した、または採用を試みたと回答したが、42%は適切な人材を確保することが困難との見方を示した。

0 : 35

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁

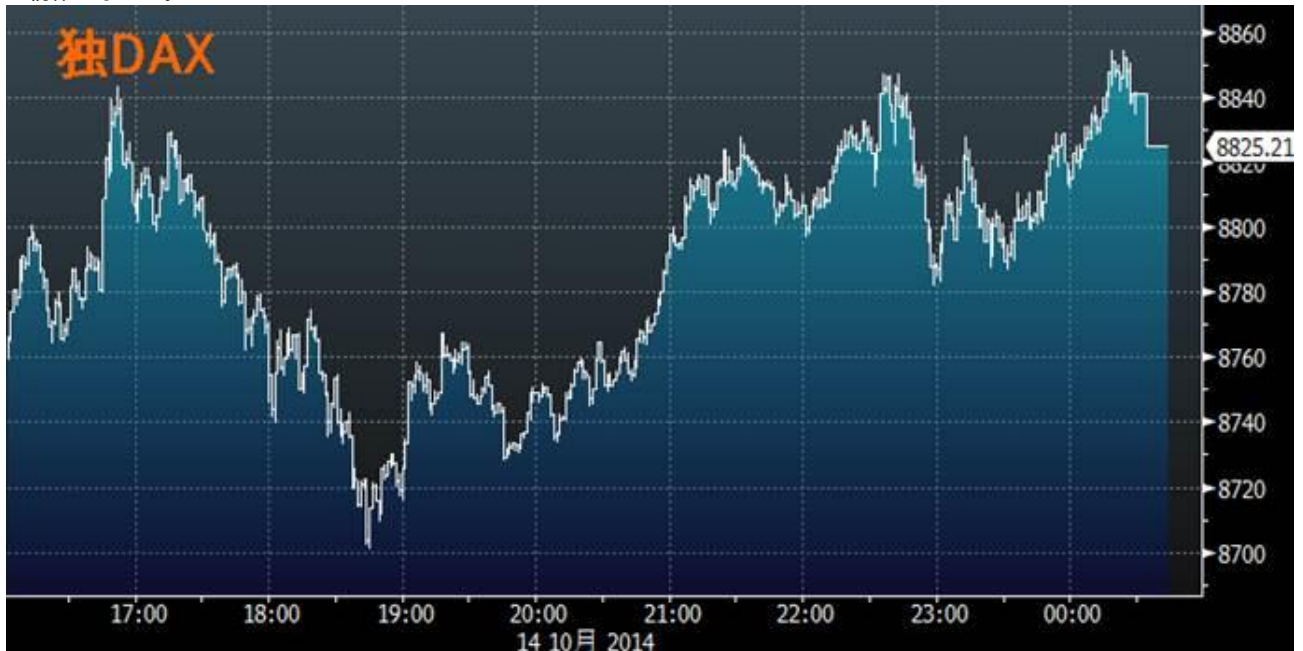
- ・「米利上げ開始時期は、世界経済への懸念にかかわらず 2015 年半ばとの予想変えず」
- ・「FRB の政策への市場予想は、基本的に正確」
- ・「FRB は、インフレ見通しが低下し始めれば一段の資産買い入れ検討する可能性」
- ・「『相当な期間』との文言は FRB 政策を引き続き正確に表現、削除すれば市場混乱する恐れ」

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6392.68	+26.44
仏 CAC40	4088.25	+9.55
独 DAX	8825.21	+12.58
ストック欧州 600 指数	321.53	-0.03
ユーロファースト 300 指数	1293.47	-0.44
スペイン IBEX35 指数	10204.90	+17.60
イタリア FTSE MIB 指数	19155.85	+16.77
南ア アフリカ全株指数	47686.85	+318.51

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、世界景気の先行き懸念で売りが先行した。また、米国株が高く始まったことで投資家心理が改善し、主要株価は続伸となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16438.04 (+116.97)、 S&P500 1896.12 (+21.38)、 ナスダック 4272.23 (+58.58)

《欧州のポイント》

①EU 統計局が発表した 8 月のユーロ圏鉱工業生産は、前月比-1.8%、前年比-1.9%といずれも市場予想を大聞く下回る結果となった。資本財の生産が落ち込んだことが要因となった。資本財の生産は、8 月に前月比-4.8%となり、ユーロ圏の投資の弱さが裏付けられた。前年比では-3.7%と、すべての項目のなかで最大のマイナス幅を記録した。

②スペイン国家統計局が発表した 9 月の物価統計によると、コアインフレ率が 2010 年以来のマイナスとなり、消費者物価指数も 3 ヶ月連続で低下した。ここまで石油と食品の価格下落が主因とされていたが、9 月には石油・食品を除くコアインフレ率も前年同月比-0.1%となり、物価下落がより広範囲に及んでいることが示された。

③ドイツ ZEW (欧州経済センター) が発表した 10 月の独 ZEW 景気期待指数は-3.6 となり、前月の 6.9 から低下した。期待指数がマイナスになるのは 2012 年 11 月以来。また、現況指数は市場予想の 18.0 から大きく低下の 3.2 となり、前月の 25.4 から大幅低下となった。ZEW は、地政学リスクやユーロ圏の一部地域の景気低迷が不透明要因になっていると指摘。受注、鉱工業生産、対外貿易の統計が予想を下回っているため、悲観的な見方が強まったのではないかとしている。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ドイツが今年の GDP 成長率の見通しを引き下げたことや、ドイツの ZEW が発表した景況感指数が悪化したことをきっかけに、欧州景気の減速懸念を背景に米国債の逃避買いが加速した。米 10 年債利回りは、一時 2.18%まで低下し、2013 年 6 月以来約 1 年 4 ヶ月ぶりの低水準となった。また、30 年債利回りは 2.93%と、2013 年 5 月以来約 1 年 5 ヶ月ぶりに 3%を割り込んだ。

午前の利回りは、30 年債が 2.978% (前週末 3.01%)、10 年債が 2.22% (2.29%)、7 年債が 1.90% (1.97%)、5 年債が 1.46% (1.54%)、3 年債が 0.82% (0.88%)、2 年債が 0.39% (0.43%)。

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 4.30 ドル高の 1 オンス=1234.30 ドルで取引を終了した。

4 : 50

NY 原油は、中心限月が前日比 3.90 ドル安の 1 バレル=81.84 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1234.30	+4.30
NY 原油	81.84	-3.90

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、欧州などの景気減速への懸念を背景に、逃避的な買いが優勢となった。ただ、ドルが主要通貨に対して上昇したのにつれてドルの代替資産とされる金を売る動きも出て、その後はやや伸び悩んだ。終値ベースでは、9月中旬以来、約1ヵ月ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、IEA（国際エネルギー機関）が発表した10月の月報で、2014年、2015年の石油需要予測を下方修正したことを受けて最近の世界的な需要減退観測が一段と高まり、売りが優勢となった。また、OPECが価格調整目的で減産に踏み切る可能性が少ないとの見方が出ていることも圧迫材料となった。終値ベースでは、2012年6月28日以来2年4ヵ月ぶりの安値となった。



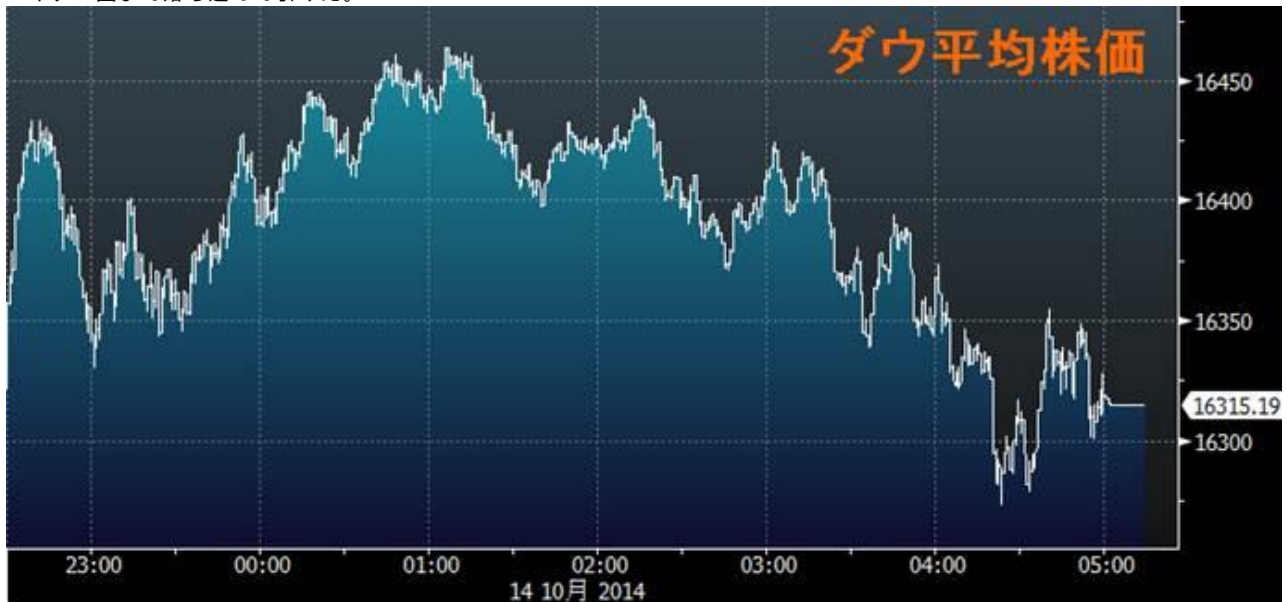
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16315.19	-5.88	16463.67	16273.64
S&P500 種	1877.70	+2.96	1898.71	1871.79
ナスダック	4227.17	+13.52	4281.34	4212.82

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、ダウ平均株価が前日までの3営業日で670ドル以上の下落となったことから、金融やハイテク関連を中心に割安感が出た銘柄を買う動きが先行した。ただ、世界経済の先行き懸念を背景に、その後は上げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で142ドル高まで上昇したものの、その後は上げ幅を縮小する動きとなり、マイナス圏まで落ち込んで引けた。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	107.03	107.20	106.85
EUR/JPY	135.50	135.69	135.16
GBP/JPY	170.30	170.78	169.97
AUD/JPY	93.21	93.71	92.95
NZD/JPY	83.90	84.37	83.60
EUR/USD	1.2661	1.2680	1.2641
AUD/USD	0.8709	0.8754	0.8694

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、序盤は欧米の堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、午後に入ると株価が軟調な動きとなり、終盤にはマイナス圏まで下落したことから、ドル円・クロス円は上値の重い展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。